

■ 言語技術 (Language Arts) と外国語学部の将来を考える ■
外国語学部創設 10 周年記念式典 & 講演会を開催

【日 時】〈記念講演会〉10月11日(金)13:00~15:00 〈記念式典〉10月12日(土)13:00~17:00

【場 所】千里山キャンパス第1学舎千里ホール

関西大学外国語学部では、学部創設 10 周年記念式典および講演会を、10月11日(金)・12日(土)に千里山キャンパス第1学舎千里ホールにて開催します。

本件のポイント

- ・外国語学部創設 10 周年を記念して、2 日間にわたる講演会 & シンポジウムを開催
- ・つくば言語技術教育研究所所長の三森ゆりか氏が外国語習得の基盤となる「言語技術」を解説
- ・卒業生や在学生在が学部への想いをスピーチ。さらには外国語学部教授らが学部の将来を語る

外国語学部は、「外国語」を切り口に時代と社会に向き合い、国際社会のフロントランナーとなりうる「外国語のプロフェッショナル」を育成すべく、2009年に創設されました。本シンポジウムでは、同学部創設 10 周年を記念し、「ことば」が切り拓く未来や「言語技術」の可能性を考え、そして同学部教授らが在學生・卒業生とともに学部の展望について語り合います。

■ 10年で卒業生は1,000名超。高い言語能力と異文化適応能力を有する人材を育成

外国語学部の学生定員は全13学部のなかで最も少なく1学年165名で、少人数教育を基本として言語の運用能力向上を図っています。また専門分野として、言語教育や異文化コミュニケーション、通訳翻訳、地域文化などの教育を展開。卒業生は1,000名を超え、CAや空港スタッフ、パイロット、マスコミ、メーカー、商社などはもとより、防衛省専門官や航空管制官、国税専門官といった専門職も輩出しています。

■ カリキュラムの軸は1年間の留学を必修とするスタディ・アブロード・プログラム (SAプログラム)

海外の提携大学への留学を必修とするSAプログラムを導入し、1年間留学をしても修業年数4年で卒業できるというカリキュラム構成となっています。現在9カ国1地域16大学と提携し、なかでも台湾、韓国、キルギス、ドイツの各協定大学では、2カ国語(英語+現地の言語)を学ぶ、全国的に珍しい「クロス」留学制度を導入しています。

こうした留学制度や言語教育は、学生のニーズを踏まえて学部教員がすべて手作りで運営しており、結果として学生の学部への高い満足度(95%)へとつながっているものと考えられます。(2018年度卒業時アンケートより)

＜外国語学部創設10周年記念式典&講演会の概要＞

【日 時】①10月11日(金)13:00~15:00 ②12日(土)13:00~17:00

【場 所】関西大学千里山キャンパス第1学舎1号館 千里ホール(阪急「関大前」駅から徒歩約10分)

【主な内容】①<記念講演会>

講 演: アンディ・ガオ氏(ニューサウスウェールズ大学)

「ことばの学びを通して人生の可能性を広げる」

※本講演は英語で実施します(同時通訳はありません)

②<記念式典>

講 演: 三森 ゆりか氏(つくば言語技術教育研究所所長)

「外国語の基礎として必要な日本語のスキル」

卒業生・在學生スピーチ

シンポジウム: 「これからの外国語学部」 ※以下登壇者の所属はいずれも外国語学部

【コーディネーター】水本 篤教授

【パネリスト】小田切 奈美准教授、李 佳樑准教授、クリス・ラモンダ准教授、

田島 義士准教授、松岡 雄太准教授、塩田 紗矢助教

以 上

※取材をご希望の方は、お手数ですが下記お問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

取材に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当: 寺崎、浦田

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-0201 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

■ 外国語学部創設10周年行事の詳細

○ 記念講演会 <10月11日（金）13：00～15：00>

13：00～ 挨拶 竹内 理（関西大学外国語学部長）

13：05～ 講演者紹介

13：10～ 記念講演：アンディ・ガオ 氏（ニューサウスウェールズ大学）

※専門：応用言語学。特に英語教育における教員養成・アイデンティティ形成、

英語・日本語学習者の自立性・動機づけ、言語政策とメディア。

テーマ：“Open new doors in life through learning languages.”

<邦訳>「ことばの学びを通して人生の可能性を広げる」

備考：本講演は英語で行います。※同時通訳はありません

○ 記念式典 <10月12日（土）13：00～17：00>

13：00～ 挨拶 芝井 敬司（関西大学学長）、池内 啓三（〃 理事長）、竹内 理（〃 外国語学部長）

13：15～ 講演：三森 ゆりか氏（つくば言語技術教育研究所所長）

※東京生まれ。中高の4年間を西ドイツで暮らす。上智大学外国語学部ドイツ語学科卒。株式会社丸紅

勤務後上智大学文学部博士前期課程中退。1984年より言語技術の指導を開始し、現在に至る。教育

現場での教員・生徒の指導を中心に、スポーツ団体（日本オリンピック委員会・日本サッカー協会・

日本テニス協会・日本バスケットボール協会）、企業などで言語技術の指導と普及に努める。

（財）ソニー教育財団評議委員、言語教育に関わり文科省の委員を複数経験。

テーマ：「外国語の基礎として必要な日本語のスキル」

概要：言語技術は、欧米言語圏で母語教育として指導され、外国語教育もそれに基づいて実施されている。日本人が母語で、この言葉を運用するためのスキルを獲得すると、英語をはじめとする欧米言語習得の近道となる。

14：15～ 卒業生のスピーチ

14：25～ 在学生のスピーチ

14：35～ 休憩

14：45～ パネルディスカッション「これからの外国語学部」 ※以下登壇者の所属はいずれも外国語学部

〔コーディネーター〕水本 篤教授

〔パネリスト〕小田切 奈美准教授、李 佳樑准教授、クリス・ラモンダ准教授、

田島 義士准教授、松岡 雄太准教授、塩田 紗矢佳助教

16：30～ 懇親会

■ 関西大学外国語学部とは（2009年4月創設）

「外国語のプロフェッショナルを育成する」

「外国語」を切り口に時代と社会に向き合い、国際社会のフロントランナーとなりうる人材育成を目指して、本学11番目の学部として2009年4月に創設。海外の提携大学（9カ国1地域16大学）への留学を必修とする2年次（1年間）のスタディ・アブロード・プログラムは、多くの大学の海外留学プログラムの草分け的存在となっている。プラスワン外国語制度（主専攻言語となる英語もしくは中国語に加えて、ドイツ・スペイン・ロシア・朝鮮語のいずれかを学ぶ）や5つの専門教育プログラム（言語教育、言語分析、地域文化、異文化コミュニケーション、通訳翻訳）もカリキュラム上の特色で、高度な言語運用能力ならびに異文化対応能力の習得、国際コミュニケーション力の育成に大いに貢献している。教育、ビジネス、国際機関、公務員、通訳翻訳、航空運輸業、NPO など幅広い業界に多くの人材を輩出。